

**令和 7 年度
交通安全指導者養成講座運営支援業務
事業報告書**

**令和 8 年 3 月
内閣府政策統括官(共生・共助担当)**

目次

概要	
講座概要	P2
配布資料	P3
日程表	P4～5

講座内容	
開講式	P6
横断歩行者保護～交通安全コーチング 交通安全プロモーションアドバイザー (前 トヨタ自動車 交通安全推進グループ) 坂主よしみ	P7～12
交通安全教育デモンストレーション 警視庁交通部交通総務課	P13～14
事例発表	P15～29
交通事故被害者支援について 公益社団法人被害者支援都民センター 中土美砂	P30～32
こどもの交通安全教育について 子どもの道路横断の判断能力とは？ ～交通安全教育における家庭・地域の役割～ 東京都市大学 稲垣具志	P33～35
「いきいき運転講座」 高齢者に対する交通安全教育プログラム トラフィック・セーフティ・アナリスト 池田佳代	P36～38
グループ討議結果	P39～44
自転車の安全利用について 自転車の事故の現状、通行ルール等 (一財)日本交通安全教育普及協会 普及事業部長 彦坂 誠	P45～47

まとめ	
アンケート結果	P48～91

1. 講座概要

◆目的

本事業は、地域住民の交通安全意識の向上、交通安全思想の普及・浸透及び交通事故防止のための街頭活動、交通安全教育等を行っている交通指導員(シルバーリーダーを含む。)及びこれら交通指導員を指導育成する立場にある者に対し、交通安全教育に関する基礎的理論及びその実践的手法に関する知識・技能を習得させ、指導的役割を担う者を養成することにより、その効果的な活動を促進し、安全で快適な交通社会を実現することを目的として実施する。

◆期間：令和7年12月8日(月)～10日(水)

◆会場

アルカディア市ヶ谷(東京都千代田区九段北 4-2-25)

《アクセス》

- ・JR 中央線(各駅停車) 市ヶ谷駅
- ・地下鉄有楽町線・南北線 市ヶ谷駅(1 または A1 出口)
- ・地下鉄新宿線 市ヶ谷駅(A1 または A4 出口)

◆受講者

【交通指導員】

都道府県又は市区町村の長等から委嘱を受け、交通安全を目的として街頭活動、交通安全教育、広報啓発活動に従事している交通ボランティア等(高齢者交通ボランティアであるシルバーリーダーを含む。)

【交通指導員を指導育成する立場にある者】

交通指導員の指導者及び都道府県又は市区町村の交通安全対策主管課の職員

◆受講者数：99名

◆配布資料

No.	資料名	使用日
1	講座のしおり	全日
2	講義資料等	全日
3	事例発表資料	1日目
4	アンケート用紙(兼 講師への質問用紙)	全日
5	グループ討議 参考資料	2日目
6	個別アンケート用紙(「高齢者に対する交通安全教育プログラム」のみ)	2日目
7	グループ討議進行例	1日目、2日目
8	メモ用紙	2日目
9	討議結果記入用紙	2日目

2.日程表

◆ 1日目/12月8日(月)

TIME	LAP	CONTENTS	内容・ご登壇者等
12:30	45	受付	
13:15	5	オリエンテーション	
13:20	5	開講式	
13:25	90	講義	横断歩行者保護～交通安全コーチング 交通安全プロモーションアドバイザー (前トヨタ自動車 交通安全推進グループ) 坂主よしみ
14:55	10	休憩	
15:05	60	講義	交通安全教育デモンストレーション 警視庁交通部交通総務課
16:05	30	事例発表	
16:35	25	グループ討議	準備・確認
17:00		解散	

敬称略

◆ 2日目 / 12月9日(火)

TIME	LAP	CONTENTS	内容・ご登壇者等
8:40	30	受付	
9:10	140	グループ討議	討議・まとめ
11:30	60	昼食・休憩	
12:30	50	講義	交通事故被害者支援について 公益社団法人被害者支援都民センター 中土美砂
13:20	10	休憩	
13:30	90	講義	子どもの道路横断の判断能力とは？ ～交通安全教育における家庭・地域の役割～ 東京都市大学 稲垣具志
15:00	10	休憩	
15:10	110	講義	いきいき運転講座～脳を元気にし、話し合いながら学ぶ～ トラフィック・セーフティ・アナリスト 池田佳代
17:00		解散	

敬称略

◆ 3日目 / 12月10日(水)

TIME	LAP	CONTENTS	内容・ご登壇者等
8:40	30	受付	
9:10	75	グループ討議	発表・質疑応答
10:25	10	休憩	
10:35	70	講義	自転車の安全利用について (一財)日本交通安全教育普及協会 普及事業部長 彦坂 誠
11:45	15	閉講式	
12:00		解散	

敬称略

開講式

**日時: 令和 7 年 12 月 8 日(月)13:20~13:25 開講式・主催者挨拶 山崎律子
(内閣府 政策統括官(共生・共助担当)付 交通安全対策担当参事官)**

内閣府 交通安全対策担当参事官の山崎律子です。交通安全指導者養成講座の開講にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

受講者の皆様には、師走のご多忙の中、会場またはオンラインにて本講座にご参加いただき、誠にありがとうございます。また、平素より交通安全対策に深い御理解と多大なるお力添えを賜り、厚く感謝申し上げます。中でも、「春と秋の全国交通安全運動」において、地域に密着した街頭活動など、熱心に取り組んでいただいておりますこと、感謝申し上げます。

我が国における道路交通事故死者数は、かつて交通戦争とよばれた昭和 45 年の約 1 万 7000 人から近年は 2600 人台まで減少しています。今年 11 月現在の交通事故死者数が 2257 人で、昨年同期と比較して、119 人減少しており、今年はいじめて 2500 人台になる見込みが出ておりますが、依然として飲酒運転による事故や子供の命が奪われる悲惨な事故が発生するなど、交通事故情勢は依然として厳しい状況になります。

政府では現在、来年度からはじまる 5 年間の第 12 次交通安全基本計画の策定準備を進めております。この計画は交通事故のない社会を目指して、交通の安全に関する総合的かつ長期的な施策をまとめたものです。本計画に基づいて、都道府県や市町村でも様々な交通安全対策が進められ、地域での取り組みによって、成果を上げることができるものなので、受講者の皆様の役割は非常に大きく、内閣府として皆様のご活躍に大いに期待しております。

本日から 3 日間にわたり開催される本講座は、交通事故防止のため街頭活動や交通安全教育に従事されている方、また、今後、指導員として活躍される方を対象に、毎年、内閣府の事業として実施しています。

今年度の講座では、「子供や高齢者の交通安全教育」、「自転車の安全利用に関する」講義、テーマ別のグループ討議などを通じて、基礎的な理論や実践的な手法に関する知識と技能を身に付けていただく、プログラムとなっております。また、この機会に、同じ志をお持ちの方々同士の横のネットワークを広げていただければ幸いです。

最後になりますが、皆様方にとってこの 3 日間の講座が有意義な実りのある講習となり、ご地元での交通安全にさらに寄与していただけることを心より祈念いたしまして、開講の挨拶といたします。

3 日間、よろしくお願いいたします。

日時: 令和 7 年 12 月 8 日 (月) 13:25~14:55

テーマ: 横断歩行者保護～交通安全コーチング

講師: 交通安全プロモーションアドバイザー 坂主 よしみ
(前トヨタ自動車 交通安全推進グループ)



アイスブレイク

緊張を緩和するため、軽いストレッチと体操（神経シゲキ体操）を実施。



[神経シゲキ体操](#)

講師の自己紹介

前職トヨタ自動車において 23 年間、交通安全教育を担当。幼児向け交通安全教材企画制作、トヨタ交通安全キャンペーン企画実施、高齢者や指導者向け講座講師の他、ベトナムにおいてもベトナム警察・ベトナムトヨタの安全運転インストラクター養成の企画実施などに従事。

また、日本自動車工業会においても、交通安全部会副部長として、啓発キャンペーン、教育教材企画制作・普及を担当。

横断歩行者保護啓発プログラム「安全は、ワタシが、つくる」の概要

- ねらい
日本の状態別交通事故死者数は、歩行中が最多。そのうちの 7 割が道路横断時に発生しており、この日本の交通事故死の普遍的な状態の解決に貢献すべく、特に道路横断時の事故削減をねらい、ドライバーや歩行者に効果的な啓発プログラム・動画教材の制作を企図した。
- プログラム開発
日本自動車工業会（自動車メーカー 14 社の業界団体）が制作。横断歩行中事故の真因追究のため、事故分析、有識者ヒアリング、横断状況観察を行い、監修者太田博雄先生（東北工業大学名誉教授）と自工会 WG メンバー（リーダー坂主）で、深い議論を重ねた。
事故は、ドライバー・歩行者双方の外在的・内在的要因が重なり発生。交通場面で求められる危険予測力は、イライラやあせりなどの感情状態により低下することが事故の大きな要因と捉え、感情コントロールをプログラム開発の重点に据えた。
- プログラムの構成・内容（動画とその教材）
動画は、コンセプト動画 1 本、ショート動画 3 本、教材動画 7 本。
コンセプト動画では、「安全は、ワタシが、つくる」をキャッチフレーズに「自分の感情状態を客観的に見つめ、自分自身を知ることが安全運転への道。」と訴えている。
教材動画は、事故多発 4 大シーンの交通状況と感情（あせり、いかり、おごり、ゆるみ）を組み合

わせ、ドライバー向けと歩行者・子ども向けがある。それぞれコーチング用の教材とセットで活用する。動画は視聴するだけでも啓発になる。その他事故削減に効果的なインフラ紹介動画も格納。



● 講習の進め方

- ①グループ内でリーダー（進行役、グループを代表した発表）を決定する。
 - ②啓発動画を視聴する。
 - ③ワークシートに記入し、グループディスカッションを行う。
 - ④感情コントロール方法を考え、グループディスカッションを行う。
 - ⑤取り組みそうな感情コントロール方法を選び、各自が発表する。リーダーは皆の前で発表する。
- 講習は、コーチング中心に進める。コーチングとは、相手との対話を通して受講者が自主的に答えを見つけることをサポートする方法。

※ 1本の動画で 30分～60分の講義時間を想定。

● コーチングを中心とした教育方法



コーチングで大切なこと：

- ・どのような意見も否定しない
- ・和気あいあいと意見を出せる雰囲気をつくる
- ・他の人の意見を聞き、話し合うことで、気づき
- ・まじめな意見、面白い意見、どんな意見も大歓迎
- ・出された意見を積極的にほめる

横断歩行者保護啓発プログラム 交通安全コーチング 体験

● アイスブレイク

グループ内で自己紹介と、ものさしゲーム（スケーリング・クエスチョン）を実施。「昨日の夕飯を思い出し 100 点満点で評価。」し、その理由を発表する。話しやすい話題で雰囲気づくりを行うことで、この後のグループワークを活発に行えるようにする。

● 動画を見てみんなで話そう

- ▶ 動画視聴：1-1 直線単路での危険__ドライバー編（感情コントロール：イライラ）



【動画内容】直線道路事故の7割は右から来る歩行者との事故だが（ドライバーの視点は左側による傾向がある）、イライラしながらの運転は、運転に集中できていないこともあり、危険を見逃しやすい。目に見える危険だけではなく、自身の内側の感情に注意を払い事故につながらないようにすることが大切。

【ワークシート】

「横断歩行者保護 交通安全コーチング 1-1 直線単路での危険__ドライバー編」用のワークシートを使用し、以下設問に対し記入後、グループ内で共有し、全体発表。

- ① あなたが最近「特にいらした体験」について具体的に記入、発表（発表内容の一部）夫婦喧嘩によるイライラ、職場であったいろいろなこと、前の車両ののろのろ運転、家族や兄弟との小競り合いが運転に影響を与える。
- ② イライラした感情が自分の運転に影響をもたらす度合いについて0%（全く影響ない）～100%（非常に影響する）に○付け、チェック
- ③ イライラの感情がどのような影響を運転時に与えたか、具体的に記入影響度合いと運転時の行動を発表
- ④ どのような感情コントロールの対処方法があるか、記入、発表（発表内容の一部）好きな音楽を聴く、大声で歌って発散する、怒りの感情を大声で叫ぶ（一人で）、自分の立場を考えて行動する（相手には「自分が見えない理由がある」、所詮は他人、と思うようにする）。

▶動画視聴：1-2 直線単路での危険__歩行者編（感情コントロール：おごり・過信）70%が左から来る車との衝突。

▶動画視聴：2-2_信号交差点・右折時での危険__歩行者編「あぶない! こうつうじこのヒミツ」※小学生向けの視聴
青信号でも周りを見てから横断歩道を渡ること。運転手に気づいてもらうために、手をあげて知らせたり、目を合わせたりすること。保護者には子供の視野の狭さを説明。

参考情報

- 交通事故データ
 - ・道路は、横断している時が危ない。歩行者死者は「横断中」が7割
 - ・横断中歩行者死者数の最も多い事故パターン『単路・直線/その他横断中の直進四輪車と右からの歩行者の事故』について詳細分析

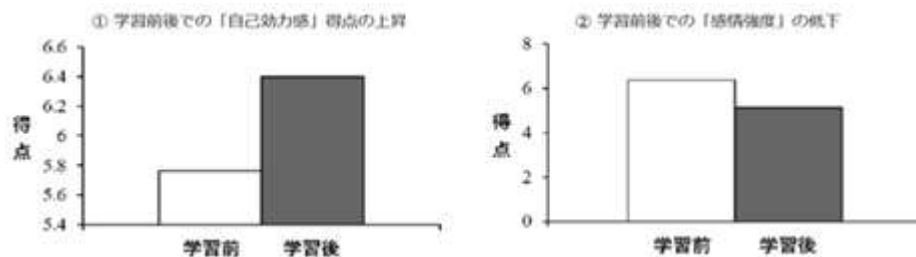
- ・「交通安全教室」大治町学校区コミュニティーの小学生・家族（90名）
- ・奈良県警が講習に活用



- 効果検証

本プログラム（直線単路での危険）を活用し、交通安全教育を実施したところ、以下2点の優位な結果が出た。

- ① ストレス時のイライラや怒りの感情は不安全行動につながりやすい。教育実施後、ストレス対処方法を学ぶことで、感情コントロールへの自信度（自己効力感）が高まった。
- ② ストレス時のイライラや怒りの感情は対処方法を身につけることで軽減されやすい。教育を実施後、ストレス状況で生じる負の感情（感情強度）が弱まり、ストレスによる不安全行動抑制の期待が表れた。



日本交通心理学会発表論文（2024年太田博雄他）

- 運転行動階層モデル（Keskinen, E.）

運転ぶりの決定要因はレベル1～4までの階層があり、上位が下位を支配する。上位の要因が下位の要因に影響を及ぼしている。安全に運転するために、どの程度の「運転技能や知識（レベル1）」が必要かという、「危険予測力、他車への反応など（レベル2）」の高さによって決められる。その「交通状況の危険予測力（レベル2）」が低ければ、かなりの「反応の速さ・運転技能（レベル1）」が求められる。また、どの程度の「危険予測力（レベル2）」が必要かは、「運転計画など（レベル3）」や「感情コントロール技能など（レベル4）」の上位レベルのあり方により決定される。つまり、安全運転は運転技能や危険予測の教育だけでは実現できない。上位レベルの教育が必要であると結論づけている。

進め方・流れの確認、おわりに

- コーチングの目的
参加者が自ら考え、自らの答えに気づくこと。

- プログラム終了に際して
交通安全指導者はファシリテーター役として参画し、以下をポイントにまとめる。
 - ・正解を押し付けない。結論を批判しない。
 - ・「もう一人の自分」の存在を思い起こすことをアドバイスする。
 - ・自分自身で気づくことが大切であると理解してもらう。
- 動画紹介：「横断歩行者保護交通安全コーチング」の進め方
交通安全指導者の役割、効果的なコミュニケーション、行動変容を促すための具体的な手法を詳細に解説するとともに、実際の講習会の様子・参加者の生の声を収録。



* 当プログラムの動画・教材は、日本自動車工業会 WEB ページよりダウンロード可能。

日時: 令和 7 年 12 月 8 日 (月) 15:05~16:05

テーマ: 交通安全教育デモンストレーション

講師: 警視庁交通部交通総務課 交通安全教育係



はじめに

交通安全教育係の役割説明。子供～高齢者に対して交通安全教育を行っている。

令和 6 年中、高齢者の交通事故死者数が 4 割弱を占めるため、本日は、高齢者の方とした対象にしたデモンストレーションを実施。

教育の導入部分の参考事例

参加者の緊張を解き、内容に興味を持ってもらうため、デモンストレーションの前に導入を行っている。

例えば、手品や手遊び。大人の場合は小話や交通ルールにまつわる雑学を紹介し、その後、講義を行う。

- 雑学例

- ・パトカーは、なぜ白色と黒色なのでしょう？

- 昭和 25 年、アメリカ軍からオープンカーを譲り受けた当時、生産される車両は全て白色であった。同色だと一般車と見分けがつかないため、半分を黒色に塗り、昭和 30 年にその配色で統一された。

- ・白バイは、昔は赤かった。アメリカでオートバイが初めて導入され、インディアンという車両だった。

- 児童が受講者の場合の手品

- ・ペットボトルに水を入れ、蓋の裏側に絵具を塗っておく。「みんなが良い子だと魔法がかかります。」と声をかけ、魔法の呪文と合わせてペットボトルを振り、透明な水を青色に変色させる。2 本目は、赤色。色がついたところで、質問を投げかけながら教育を進める。（「信号機が赤色の時は？」「止まる」「正解！止まるときは信号機から 3 歩下がって待ちます。信号が青になったら？」「渡る！」「正解です。でも、よーいドン！は絶対にダメです。」など）

- ・魔法の絵本を安全教育の最後（子供たちの集中力が切れてきた頃）に使用する。（「交通ルールのお話をよく聞いて、みなさんの頭の中に入れてくれたので、白紙だった絵本が白黒絵本になり、さらに色が塗られてカラー絵本に変化していく。という手品の本を活用する。」）

- ・子どもから大人まで活用できる、「認知・判断・操作」が入った導入ゲーム

- 信号機を模した、「赤色・青色・黄色」の色紙を準備する。次に、それぞれの色のポーズを決める。例えば、「赤色」色紙が提示された時は、胸の前で両腕をクロスさせ×（バツ）を作る。何度か繰り返し、スピードアップする。応用編として、黄色の色紙を提示し「赤」と言う。スピードアップするとポーズを間違えやすくなる。つまり、焦ると判断を誤りますよね、との説明にもつながられる。

・大切なことは、受講者によって、伝え方を変えるということ。

● 高齢者の認知機能について

・認知機能が低下している高齢者の場合、赤信号の意味が分からない。そのため、赤信号であるのに横断歩道を渡ってしまい事故に遭う。

・高齢者は、視力・聴力の低下（緑内障など）、認知機能の低下（咄嗟の判断ができなくなる。）、運動機能の低下（歩く速度が遅くなる。自転車のハンドル操作を誤る。）、心理的な状況（頑固になる）、など様々な症状が起こる。

・75歳以上の方が免許を更新する際に必要な「認知機能検査」は、今後も安全に運転をしてもらうため、支援をするための検査である。

・家族や友人から「大丈夫？」と聞かれた際は、受け止める気持ちをもつよう、勧めてみる。

・認知機能は脳トレーニングなどで低下を予防する。

● 着ぐるみを使用した安全教育

着ぐるみと一緒に〇×クイズを実施。



➤ 第1問 自転車事故で最も多い発生場所は、交差点である。解答：○

・主な原因は、「止まれ（一時停止）」の標識がある場所で、一時停止していないこと。

・一時停止の標識がある場所は、そもそも事故が多かったり、見通しが悪かったりする場所に設置してあるため、「これまで事故にあったことがないから、自分は大丈夫」と思わず、必ず一時停止すること。

➤ 第2問 自転車に乗るとき、ヘルメットの着用が努力義務とされているのは子供だけである。解答：×

・事故にあって死亡した方の64.9%が頭への衝撃を負っていたため、令和5年より子供も大人もヘルメットの着用が努力義務となった。

・動画視聴：ヘルメットの強度実験 ～お豆腐の運命は・・・～

お豆腐をそのまま落とした場合とヘルメットに入れて落とした場合では、そのまま落としたお豆腐が崩れ、ヘルメットの中のお豆腐はそのままだという結果に。

● まとめ：心のブレーキで安全運転

忙しい時、焦っている時は交通ルールを守ることができなくなる要因となるため、急いでいる時こそ慌てず、急がず、気持ちと時間にゆとりをもって安全運転を行うことが重要。

1年生 歩行教室 45分

（歩行歩行教室コース図）

道路の歩き方、渡り方についての学習
横断マットと模擬信号による歩行練習





道場

本校の子

4年生 自転車教室 90分

（事前学習とテスト）

- <座学> パネル 自転車のルールとマナー
DVD 危険予測の学習
- <実技> 安全確認の練習
模擬コースで実技テスト
- <まとめ> 自転車安全運転講習修了証の授与
交通事故、自転車保険の話など



事前学習

- ・テキスト
各学校に配布
先生が授業等を行い予習する



- ・テスト
防犯・交通安全係にて作成
80点以上で合格



座学

- ・パネル
自転車安全利用五則に基づく
ルールやマナーを学ぶ



- ・DVD
危険予測を学ぶ



実技（安全確認）



実技（テスト）

模擬コース 一時停止、見通しのわるい箇所、信号のある横断歩道



各ポイントで交通係員や先生が安全確認のしかたをチェックする

実技（テスト）

1人ずつコースをまわる



以前は校庭に線を引き、コースを停っていた先生の手間がかかる。天候に左右される
一体育館で行うことに

近年の状況（自転車とハンドル）



令和7年度
自転車 9校 (19%)
ハンドル 39校 (81%)

自転車を用いた実技

メリット

実際に近い状況で安全確認の必要性を学ぶことができる

デメリット

けがをするリスクが高くなる
実技に時間がかかる
体育館のスペース上、自転車が入りまらない
自転車を家庭から持ち寄ることが難しい（保護者の協力）



ハンドルを用いた実技

メリット

家から自転車を持ってくる必要がない
交通安全教室中のケガの心配が少ない
自転車に慣れない児童も気持ちに余裕をもてる

デメリット

実際の動作や見え方とは異なる
気づかしがら意識がある



自転車安全運転講習修了証



R7年度より名称変更

自転車安全運転免許証→自転車安全運転講習修了証

「自転車安全運転免許証」→校章と名前入り

- ・事前に名簿提出が必要であった
- ・免許証は市が運転を許可しているかのような誤解を与える

日時: 令和 7 年 12 月 8 日 (月) 16:15~16:25

事例発表② 登壇者: 鹿児島県 阿久根智子

「交通安全教室の活動内容について」

(公財)鹿児島交通安全協会交通安全指導員の活動内容として、園児、小学生を対象とした交通安全教室に重点を置き活動をしています。

◎幼児の交通安全教室

令和6年度	実施数	人数	内容
幼稚園	2園	255人	・腹話術
保育園	11園	611人	・信号機の説明
こども園	32園	2,548人	・着ぐるみ(12月~3月)
合計	45園	3,414人	・DVD

各園に次年度のアンケート(交通安全教室内容)を送り、日時や実施内容の希望を取り、決定次第確定内容の文書を発送します。(資料①交通安全計画表)

多くの園が腹話術を希望しており、毎年内容を変えながら楽しく勉強が出来るように工夫しています。

◎令和7年度はマジックを取り入れた腹話術を実施。



横断歩道の渡り方



パネル



着ぐるみ



模擬信号機



※教室の最後にプレゼントを渡し、園児に対して「帰ったらおうちの人にプレゼントを見せて、今日お勉強した事をお話してね。」と話し、家庭での交通安全の話題を広げるようにしています。

◎小学生の交通安全教室

令和6年度	実施数	人数	内容	
小学校	21校	4,984人	下学年 ・信号機の説明 ・横断歩道の渡り方 ・実技（模擬横断歩道）	上学年 ・自転車点検の仕方 ・自転車の乗り方 ・実技（模擬道路）

小学校からの依頼により、事前に内容の確認文書を発送し、担当者と打ち合わせの後、関係者に連絡しています。（資料②小学校実施内容文書）

◎下学年

横断歩道の渡り方を中心に、道路の正しい歩き方や、危険な場面（車の前後から横断や内輪差等）の実演を見て学ぶ教室を行っています。要望がある学校では、警察と連携を取り校外指導も実施しています。

横断歩道の渡り方



学校周辺の危険箇所



押しボタン式横断歩道の渡り方



◎上学年

自転車を中心に、点検や交通ルールを指導しています。実技では校庭にコース（模擬道路）を作成し法規走行と技術走行をします。（資料③自転車コース図）



希望する学校によっては、二輪普及協会の方が生徒の自転車を学校の担当者と点検し、チェック表を生徒に渡して不備箇所を把握させています。（資料④自転車点検表・⑤自転車点検申込書）
また、自転車のプロチームと合同で自転車の乗り方の指導も行っています。



◎放課後デイサービス（学童）等

令和6年度	実施数	人数	内容
放課後デイサービス	4施設	61人	・DVD ・交通安全クイズ ・危険予測

小人数での交通安全教室になるので、個々のやりとりが出来る内容を毎回変えながら実施しています。交通安全に対する思考力を高める為に、映写機を使用した危険予測やクイズ等を行っています。



令和 7 年度交通安全教室計画表

保育園様 幼稚園様 こども園様 電話番号 () FAX () 担当者 (様)	令和 年 月 日 (曜日) 時 分から その他の実施可能月日 () <input type="checkbox"/> 園庭(室外)にて実施希望 (登壇時期は避けてお願いします。) ※雨天時は室内になります。日程を変更し園庭を希望する場合はご連絡をお願いします。
実施希望日時 ※園庭(室外)での実施希望がありましたら☑してください。	<input type="checkbox"/> 交通安全 DVD <input type="checkbox"/> 腹話術 (着ぐるみは実施できません。) <input type="checkbox"/> 着ぐるみ (3 学期 12 月～2 月のみ実施) <input type="checkbox"/> その他 () ※横断歩道の渡り方は内容に含まれています。
実施希望項目 ※希望する項目に☑をつけてください。	園全体の人数(名) うち 参加人数(名)
人数	横断歩道の渡り方 ※渡り方の実施対象者を希望する項目に☑と人数を記入してください。 (予定数で構いません)
車の園庭への搬入	許可 ・ 禁止
写真撮影 (活動記録用) ホームページ及び BIGWAVE 無料マガジン	・下記どちらかに☑をお願いします。 <input type="checkbox"/> 撮影許可する <input type="checkbox"/> 撮影許可しない ※許可する項目に☑をつけてください。 <input type="checkbox"/> 園児の顔出し許可 <input type="checkbox"/> 園児の後ろ姿のみ許可 <input type="checkbox"/> 顔部分を隠して許可 <input type="checkbox"/> その他()

交通安全教室の実施内容について

対象学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
人数	名	名	名	名	名	名
クラス数	組	組	組	組	組	組
晴天時 実施可能	☑	☑	☑	☑	☑	☑
雨天時 実施可能	☑	☑	☑	☑	☑	☑
歩行内容 横断歩道 渡り方の過程 自転車乗車 自転車乗技						
自転車台数	台	台	台	台	台	台

※同時期内の、歩行と自転車の授業を分けて実施は行いませんのでご了承ください。

チェック項目

①晴天時

- (1) 下記のコース図を選んで☑してください。(別紙にてコース図案内)
- ①横断歩道コース・自転車コース ②自転車コース(グラウンド外周使用)
 - ③自転車コース(2コース使用) ④学校作成コース図(事前に FAX ください)
- (2) 自転車乗技上による自転車乗技(どちらかを選んで☑してください)
- ①希望する ②希望しない
- ※希望する場合は、別紙の「自転車乗技申込書」を記入し、お早目に FAX にて返信をお願いします。また、点検は教室時間外に先生方の立会(点検票にチェック)が必要となります。

③自転車

- (3) 自転車の乗技について(いずれかを選んで☑してください)
- 自転車を交代で乗る 自転車を持ってきてほしい児童のみ乗る 児童は乗らない
- ※基本の教育内容後実施となりますので、約 15 分程度の時間となります。(授業時間 45 分の場合)

④雨天時

- (4) 横断歩道の渡り方の講習時、車を走らせて良いですか、どちらかを選んで☑してください)
- 車を走らせて良い 車を走らせてない
- (1) 交通安全 DVD (15 分～20 分) を希望されますか。(どちらかを選んで☑してください)
- ①希望する ②希望しない
- (2) 準備していただける下記の備品がありましたらお知らせください。
- ①スクリーン ②延長コード ③自転車 1 台(自転車教室)

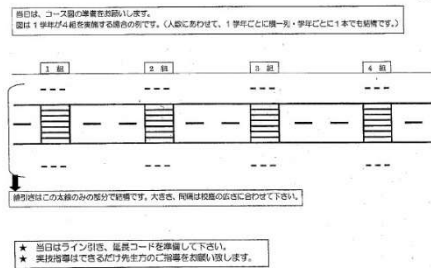
⑤その他

- (1) シェルブルーカーや(自転車のプログラム)の選手と合同で教室を希望されますか。
- (自転車教室の時間のみの参加)
- ①希望する ②希望しない

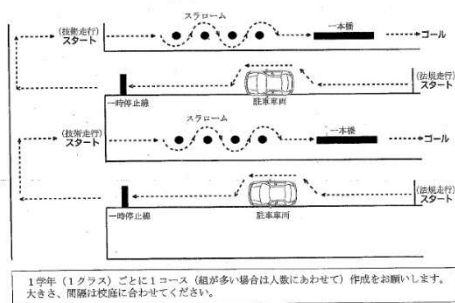
※留意

※雨天時で実施の際はライン引と三角コーン(自転車の内容時使用)の準備をお願いします。
 ※校外での乗車については、警備官の立会が必要となりますので、直前、交番または駐在所にご連絡下さい。又、道路使用許可の申請が必要となります。(県警警察署交通安全課まで 4 日間を要します。申請料は免除となります)

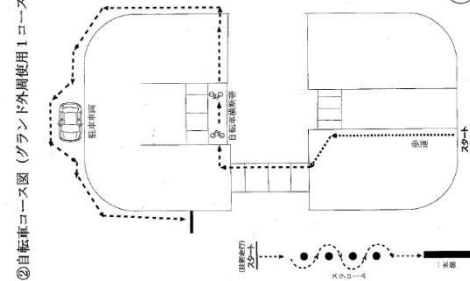
① 横断歩道コース図



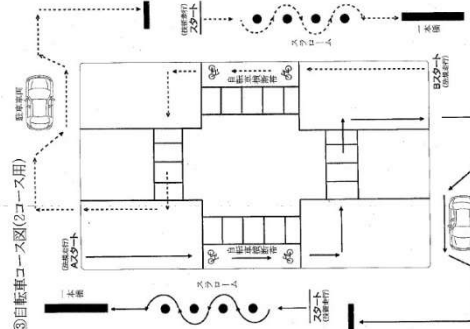
① 自転車コース図



② 自転車コース図 (グラウンド外周使用 1 コース用)



③ 自転車コース図 (2 コース用)



日時: 令和 7 年 12 月 8 日 (月) 16:25~16:35

事例発表③ 登壇者: 広島県 久保田博己



令和7年度交通安全指導者養成講座 発表骨子

令和7年12月8日 アルカディア市ヶ谷

東広島市交通指導員 久保田博己

1. 交通指導員の活動の課題について
 - ① 小・中学校の交通安全教室(4月~5月)
 - ② 高齢者、地域集会の交通安全教室
 - ③ 中学入学直前の小学6年対象に自転車教(主に荷作り方法)
(3月~4月春休み中実施)
2. それぞれの課題と対応
 - ① 小・中学校の交通安全教室(4月~5月)における事前打合せの対策として
先生は働き方改革もあり大変忙しいことを踏まえ、指導員はまとまって入室。
簡潔な打ち合わせ。複数の指導員がいる場合は事前にリーダーを決めておく。
 - ② 高齢者の交通安全教室
毎回(毎年)ほぼ同じ方が来られるので、話のコンテンツを変える必要がある。
興味を持てる内容を準備する。(例として、信号システム、交通管制、事故例、
安全施設整備事業、などをビジュアルに)
とはいえ、高齢者における基本的注意事項は最後に簡潔に言い添える。
 - ③ 中学入学直前の小学6年対象に自転車教室
細かい対応にはマンパワーがいる。よって、地域の方のお手伝いを頂く。
例えば、駐在さん、自治会の方、日ごろの見守りボランティアの方々など。

東広島市

みんなでつくろう安全・安心の街

交通指導員の活動と課題

東広島市交通指導員：久保田指導員

東広島市について

- 東広島市は昭和49年、お酒のまち西条町、中心に、新しい東広島市としてスタートしました。
- 人口約20万人




警察署(5階建て) 市庁舎(10階建て)

交通指導員の実情

人数 25名

- (女性:9名 男性:16名)
- (50歳~80歳)

活動その1. 小学校の登校時の交通指導

- 小学校の数 : 33校
- 小学校児童数:約11000人

活動その2. 交通安全教室

- 保育所、幼稚園(58所中 10所程度)
- 小学校 (33校中 31校)
- 中学校 (15校中 10校程度)
- 高齢者教室(…団体中 10教室程度)
- その他地域団体

毎年1回、概ね 1~4名の指導員が対応

交通指導員の活動における課題など

- 小・中学校の交通安全教室
- 高齢者交通安全教室
- 小6の自転車教室

- 先生は超忙しい…指導員はまとまって入室 簡潔な打ち合わせ
- 船頭は一人に…市からの計画書の左側がリーダー 助言は大いにしましょう
- 服装……………事前打合せは自由(制服不要)

1. 小・中学校の交通安全教室

八本松老人クラブの交通安全教室の担当を継続

- 老人会会長の講師に対する要望が個性的。
- 平成30年以降、毎年、話の内容を変えています。

2. 高齢者交通安全教室

平成30年10月31日
老人クラブ連合会
(八本松支部)
交通安全教室

交通指導員：久保田 (三永)

本日の内容

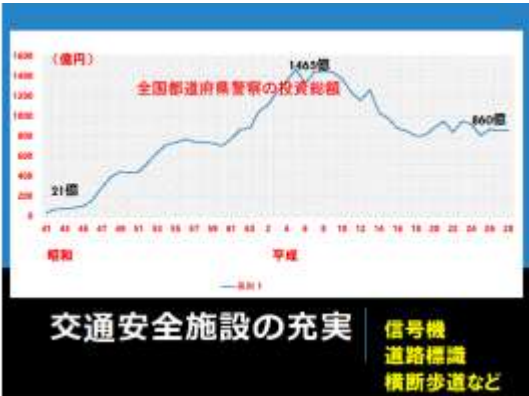
1. 昭和40年代の交通戦争は今どうなっているのか？
2. 日本の交通管制システムについて
3. これからの車社会 ITSの将来
UTMS(警察庁の推進するITS) (DVD)

昭和34年～昭和50年 1万人越え
平成 元年～平成 7年 1万人越え
ピークは昭和44年、45年、46年
16000人 越え
「交通戦争」と言われた時代
その後減少傾向
平成29年には **3694人**

全国交通事故死亡者数

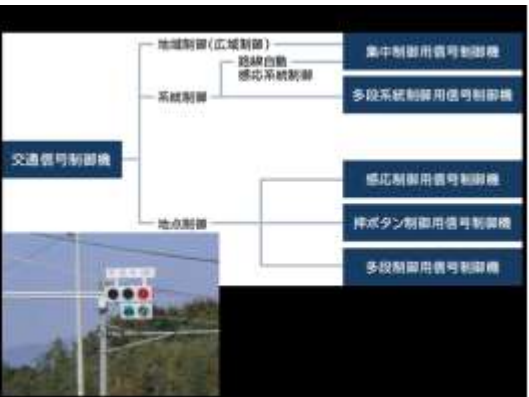
1. 交通安全教育の充実
2. 車の構造の進化
3. 交通安全施設の充実

交通事故死亡者の減少はなぜ起こったか



日本の交通管制システム (警察のシステム)

ヘリコプター / パトカー / 警察官
車載方式 車内検知装置
衛星方式 車両検知装置





日本の交通管制システム
(都市内高速のシステム)

ITSの将来の方向性

2030年、我々は、「誰でも、どこでも快適に移動できる社会」を目指す。

- (1)人に優しい自由なモビリティの提供
 - (2)社会活動の発展に寄与するモビリティの向上
 - (3)社会や自然と共生するモビリティの提供
- 長生きすれば高齢者にとって優しい車社会が待っている

(参照)ITSJapan資料から

高齢者の交通安全のまとめ

高齢による衰えの自覚。
スピード控えめ。急がない、冷静な運転。
薄暮、夜間の外出は控える。
早めの点灯。ハイビームの活用。
明るい色の服装。白っぽい服装。
反射材、LEDライトの活用。
体調がすぐれないときは運転控える。

令和元年
老人クラブ連合会
交通安全教室

交通指導員：久保田（三永）

秋の紅葉（京都 東福寺）



高齢運転者標識<高齢者マーク> (70歳以上、努力義務)



もちマーク
2011年に
リニューアル



東京池袋 交通事故と遺族

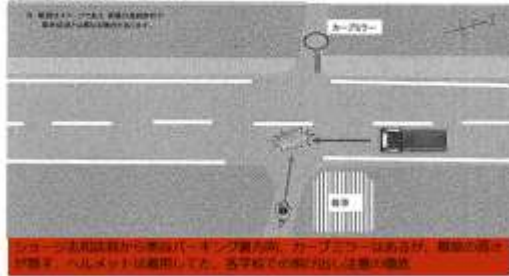
- ▶平成31年4月19日東京池袋四丁目で元産産相工業技術院職員 飯塚幸三(87)が運転する車が起こした事故。
- ▶母と娘の二人が死亡。そのほか9人がけがをした。
- ▶高齢ドライバーの事故対策に対する日本社会の関心を高めるきっかけにもなった事故
- ▶実際の講演では事故状況の動画像を見ていただいています。

東広島署管内 死亡交通事故 <本年10月まで4件発生>

日時	場所	事故状況	死者
4月22日 14:43	志和町別府	中型貨物×自転車の出合頭	自転車の10歳男児
7月 8日 23:55	西条町下三永	普通乗用車の単独	運転の20歳男性
9月25日 12:35	西条町寺西	普通乗用車×軽乗用の出合頭	同乗の82歳女性
10月25日 18:00	高屋町重兼	道路横断中	歩行中の89歳女性

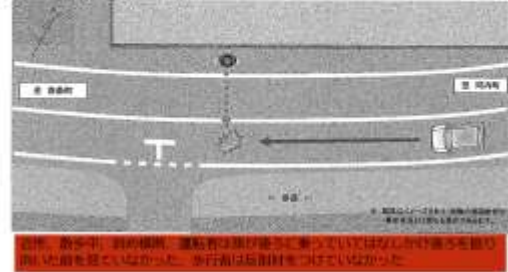
小学生男児被害死亡事故

【事故状況略図】



道路横断中の高齢女性の死亡事故

【事故状況略図】



令和2年 老人クラブ連合会 交通安全教室

交通指導員：久保田（三永）

自転車事故現場 <車両は右側に注力、左側への意識散漫！>



令和3年

老人クラブ連合会 交通事故に遭わないために

交通指導員 久保田(三永)

令和4年

老人会 交通安全教室

東広島市交通指導員
久保田

東広島 志和西 同乗者死亡！



東広島市 土与丸 大学生重傷事故



令和5年

**老人クラブ
交通安全教室**

東広島市交通指導員：久保田

交通安全教室

令和5年になって、東広島市内では
10件の死亡事故が発生しています。

夜間 逆走

注意：左から来たトラックがこちらの右折レーンに入ってきました。
車道の真直では、動画で見ていただいておりますが、今日は禁止帯のみです。

- (自動車運転)
- 黄色は止まれ！注意して進めではありません。
- 横段歩道に歩行者がいる場合、一旦停止！
- ベタルの踏み間違え 要注意！
- (歩行者)
- 歩道、夜間歩道、向きの歩道、歩道からの横断。
- 横断歩道は「歩道で」「注意で」「注意で」、
(歩道横断禁止！)

交通安全のお願い

**絶対！交通事故を起こさない！
事故に合わない！
電話で お金の話は詐欺！**

終

① 荷崩れおこさないカバンのしぼり方

② 自転車保険への加入

③ 事故発生時の対応

現在)三永小学校、原小学校、志和小学校で実施

**3. 中学就学前の小学校6年生
を対象の自転車教室の推奨**



END